



南山小学校 学校だより

9月号

平成29年9月1日
港区立南山小学校
校長 明田川輝美



校長 明田川 輝美

42日間の夏休みも終わり、子供たちの元気な声と笑顔が戻ってきました。今年の夏は、東京で40年ぶりと言われる21日間連続雨が降り続き、日照時間も例年に比べかなり少なかったようです。そんな気候の夏休みでしたが、子供たちの嬉しそうな目の輝き、夏休みに制作した作品を大事に抱えて登校する姿から、充実した夏休みを過ごせたことが伝わってきました。いよいよ、2学期の始まりです。夏休み中に体験したことや努力したことを生かして、充実した2学期にしていきたいと思います。

夏休みに入った7月21日から南山小地域防災協議会の方々が主催して下さった「ラジオ体操」では、保護者・地域の方々にお世話いただきまして感謝申し上げます。早朝6時半から早起きをして参加している児童の姿を5か所に分かれた各地域で見ることができ嬉しく思いました。また、夏季水泳教室やサマースタディに意欲的に参加する子供たちの姿もありました。サマースタディでは、都立六本木高校の生徒さんがボランティアで子供たちの学習の支援をして下さっています。地域の方々のお力添えに心から感謝いたします。

ラジオ体操



夏季水泳教室



サマースタディ



5年生は、8月6日から8日まで、初めての宿泊行事となる箱根ニコニコ学園へ行ってきました。台風が接近していたにもかかわらず、浅間山（せんげんやま）登山をはじめ、全て予定通り行うことができました。5年生は、生活態度も大変立派で、協力し合うことの大切さを学び、友達の良さを見つけ友情を深められたことでしょう。

ロンドンでは、世界陸上選手権が行われました。私は、男子200メートル決勝に史上最年少で進出した18歳のサニブラウン・ハキーム選手の活躍に目が離せませんでした。18歳という若さでありながら、歴史に名を刻んだ決勝の舞台で7位に入賞し、「緊張は全然しなかった。」という強い精神力の持ち主でもありました。

実は、私が勤務していたA小学校にサニブラウン選手が1年生の時に在籍していました。その後、サニブラウン選手は、B小学校に転校してしまいましたが、私も後を追うようにB小学校へと異動することになりました。テレビで見るサニブラウン選手の表情は、小学生のあどけない面影を残していますが、鍛え抜かれた身体は、小学生の時には想像できないほど逞しく努力の跡がにじみ出ています。

南山小学校にも学校外でスポーツや芸術、芸能関係等様々な事に取り組んでいる子が数多くいます。子供たちには底知れない大きな可能性が潜んでいます。自分の夢に向かって花咲かせられるよう、末永く応援していきたいと思えます。実り多き豊かな2学期を目指して教職員一同努めてまいります。

9月の行事予定

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
					1 始業式 避難訓練 給食開始	2 セーフティー教室 保護者会 夏休み作品展 (8日まで)
3	4 全校朝会 記録会応援 委員会 スクールカウンセラー	5	6 区水泳記録会 (6年) スクールカウンセラー	7 水泳指導終了 泳ぎ納め	8 幼稚園との 合同水泳 (5年) 交流給食 (1年2組、4年)	9
10	11 プール納め スクールカウンセラー	12 音楽朝会 社会科見学 (4年) 交流給食 (2年、5年)	13 香道(6年)	14 六本木中学生 職場体験	15 六本木中学生 職場体験 交流給食 (3年、6年)	16 パラリンピック スポーツ体験 (3年、4年) クラブ
17	18 敬老の日	19 委員会紹介 集会 中学校見学 午後(6年)	20 挨拶1 和食器体験給食 (5年、6年) スクールカウンセラー	21 挨拶2	22 挨拶3	23 秋分の日
24	25 全校朝会 挨拶4 スクールカウンセラー	26 集会 挨拶5	27 挨拶6 研究授業	28 挨拶7	29 挨拶8	30

9月の生活目標

「姿勢を正そう」

・字を大きく丁寧に書こう

・鉛筆を正しく持ち、背筋をのばそう

着衣水泳学習

体育主任

水難事故に遭遇したとき、または自分が危ないめに遭ったとき、どのように行動したらよいかについて、实际的に学ぶ場として、日本赤十字社の方々にきていただき、毎年実施しています。

今年も7月3日（月）に、行いました。児童は、服を着たまま水に入ると、いかに危険なのかを体験し、命をつなぐためには、バケツやカバン、ペットボトルなどあらゆるものが浮力を生み、助けとなることを知りました。川や海に出かける際に役立つ大切な学習活動でした。



水泳の学習

体育部

6月12日のプール開きから、体育の授業・夏季水泳と水泳の学習をしてきました。低学年は、「水に慣れる遊び」「浮く・もぐる遊び」を中心に練習をし、はじめは顔を水につけることをためらっていた子も、ずいぶん水に慣れ親しむことができました。中学年は、けのびやふし浮きなどの浮く運動に加え、クロールや平泳ぎの初歩的な練習にも挑戦しました。高学年は、泳法ごとにポイントをしぼったり、課題別に分けられたりしながら、クロール・平泳ぎの練習をしてきました。

《インタビュー ～今年度の水泳の学習でがんばったこと・できるようになったこと～》

○頭までもぐることができました。／だるま浮きができた。（1年生）

○ふし浮きができた。／けのびをがんばった。（2年生）

○25メートル泳げるようになった。／クロールができて5級になった。（3年生）

○クロールの呼吸の仕方をがんばった。／平泳ぎが泳げるようになった。（4年生）

○クロールは息つぎの仕方、平泳ぎは手を素早くかくことに気を付けて、2段に合格した。／けのびを意識したら、平泳ぎのタイムが10秒縮んだ。（5年生）

○クロールで50メートル泳げるようになった。／

クロールをがんばって2級から2段に合格した。（6年生）

インタビューから、どの子も目標をもって一生懸命取り組んできた様子が伺えました。来週7日（木）の泳ぎ納めでも、達成感・充実感をもって締めくくりをしてほしいと思います。



箱根夏季学園

第5学年担任

夏休み中に行った箱根夏季学園では、5年生の子供たちが自然の中で五感を通して多くの体験をすることができました。一人一人が自律的に行動しながら、友達と協力して、過ごすことができました。

1日目に行った飯盒炊さんでは、家庭科の調理実習を生かしてカレー作りをしました。自分たちで作ったカレーの味はきっと格別だったと思います。鳴沢氷穴では、洞窟の中では0℃の気温で氷の世界を体験しました。同じ日に宿泊した御成門小学校のみなさんと、キャンプファイヤーやレクを合同で行い、親交を深めることができました。



2日目は、浅間山登山に挑戦。みんなで声を掛け合いながら、頂上を目指して一步一步踏みしめる姿はとても感動的でした。天気にも恵まれ、自然の中で木々の様子や滝を眺めながら過ごすことができました。登頂できた瞬間は、思わず歓声が上がり、その達成感はきっと大切な思い出になったと思います。森のふれあい館でのキーホルダー作りも、形に残る思い出となりました。



3日目は、富士サファリパークで本物の動物を観察しました。動物の姿を目の前にして、子供たちはバスの中で大盛り上がり。実際に見たり触れたりする喜びを実感していました。

夏季学園の中で、子供たちは自分たちでよく考え、思いやりの気持ちをもって行動しました。きっとこの経験がこれからの学校生活はもちろん、一人一人の今後に活かされていくと思います。御家庭はもちろんのこと、多くの方々に見守っていただき、御協力をいただいたことに深く感謝申し上げます。